



機 械

2021 年度新規採用職員インタビュー

「縁の下の力持ち!」

所属

県北建設事務所 建築住宅部 建築住宅課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 主に県有施設に設置されている様々な建築設備の更新工事の設計・監理業務を担当しています。業務にあたっては、建築設備の品質を確保するため、各種設備に関する関係法令などを都度確認しながら行う必要があります。普段何気なく利用されている建築設備ですが、施設を快適に利用してもらうために、その品質の保持は必要不可欠なものです。この仕事を通して、施設を利用される多くの方々に快適な環境を提供できるということにやりがいを感じています。



↑ 打合せの様子



↑ 施工確認の様子



Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていること

A. 建築分野の技術系職員として、住民の方々が常に快適に、そして安心して利用することができる県有施設を提供し、少しでも県民の方々や福島県の役に立つ職員になることが目標です。そのためにも、まずは、先輩方から信頼され、安心して仕事を任せてもらえるような職員になれるよう、一つ一つ目の前の仕事に責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 東日本大震災、令和元年東日本台風などの自然災害をきっかけに、より多くの人々の何気ない日常を守っていく仕事がしたいと考えるようになり、公共性が高い事業に携われる県職員を志望するようになりました。



↑ 工事資材の確認

Q. どうやって仕事を覚えていますか。

A. わからないことをそのままにせず、自分で調べたり、周りの先輩職員に教えていただくなどして、すぐに解決するように心がけています。また、その内容をノートにまとめ直すなどして、一つ一つ学びながら覚えています。

Q. あなたの県職員生活をキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「清らかであれ・勉勵せよ・世の為たれ」「温泉同好会」「野球・ソフトボール」

Q. 「清らかであれ・勉勵せよ・世の為たれ」について教えてください。

A. 社会人になって約1年が経ち、改めて、この言葉の意味が身にしみました。いつまでも素直な心を持ち続け、目の前の仕事に励み、世の中（福島県）のために少しでも役に立てるような人間になれるよう精進していきたいです。